

愛知県芸術劇場小ホール

2019/3/9^土 10^日

9^時 18:00 / 10^時 15:00

音から作る映画のパフォーマンス上映 アサロメの娘 アークリスモニウム

【音楽・アークリスモニウム演奏】

檜垣智也

七里圭

【演出・映像】

【テキスト】
新柵未成

【声】

青柳いづみ

soi

原マシミ

飴屋法水

山崎阿弥

山形育弘

太田真紀

さとうじゅんこ

他

20台以上のスピーカーが織り成す立体音響と、
独創的な多層プロジェクションによる映像詩

音から作る映画のパフォーマンス上映

サロメの娘 アークスモニウム

2019/3/9(土),10(日) [9(土) 18:00 | 10(日) 15:00] 愛知県芸術劇場小ホール



◆アークスモニウムとは？

電子音響音楽の空間化をリアルタイムで行うための演奏ツール。20台以上のスピーカーを駆使して、LRのみのステレオ音源を増幅、分散、拡張する。1974年にフランスの作曲家フランソワ・ペイルが考案した。

◆「音から作る映画」とは？

ライブ・パフォーマンスと映画制作を行き来しながら作品を発表する、映画監督七里圭のプロジェク。映画制作の通常のプロセスを逆転して、音(サウンドトラック)から映像へ制作するとともに、多彩な表現者とコラボレートしながら、映画という表現形式を拡張する試みに挑んでいる。2014年の開始から現在までに11作品のライブと8本の映画(長編6、短編2)を生んでいるが、今回、映画の最新作『あなたはわたしじゃない』も時期を合わせて名古屋シネマテークで上映される。



テクニカルスタッフ：高橋哲也 大塚勇樹 牛山泰良 深田隆之

公演制作：村松里美 宣伝写真協力：豊嶋希沙 宣伝デザイン：門谷風花

録音協力：寺田英一 西村直見 音楽協力：池田拓実 演奏協力：多井智紀(Viola da gamba) 寒川凜子(トロンボーン)

牛山泰良(笛) 映像撮影：高橋哲也 村上拓也 美術協力：清水真理 日野まき コヤヒロカ 今藤哲平

映像スタッフ：末永賢 豊嶋希沙 青木思穂 門谷風花 深田隆之 南香好 植地美鳩 飛山拓也 郷沢芳

お母さんが、
動かない、
喋らない、
ただこんなふう
傍らで見つめてくれるだけの
存在だった。
大切にしたろう、
もしも壊れてしまっ
かけただけになっても、
いつもポケットに入れて
持ち歩いているはずだよ

その娘は、母について話しつづける。

姿を見せず、まるで幻聴のように、そば立つ声、さざめく響き。独自の多層プロジェクションによる、神秘的な映像の波が、静かな闇から押し寄せる。

20台以上のスピーカーを駆使した立体音響システム「アークスモニウム」の演奏で増幅、拡張されるサウンドの饗宴。

2015年東京・両国で初演され、フランス電子音楽祭 FUTURA、2016年京都、2017年再び東京・原宿と、上演されるたびにヴァージョン・アップされてきた「音から作る映画」ライブの代表作が、ついに決定版で愛知初上演！

榎垣智也

愛知県立芸術大学大学院修了。博士(芸術工学、九州大学)。ドニ・デュフォー、ジョン・タン・ブジュ各氏の元で作曲とアークスモニウムの研究を積む。ハーバード大学、ケルン大学、INA/GRM(仏)、Motus(仏)、Musiques&Recherches(白)、M.a.r.e(伊)、釜山国際電子音楽祭、ヒルヴィ(日本)など世界中のアークスモニウムを演奏。Futura 講習会講師(2005-)。Espace du son 国際空間演奏コンクール審査員(2014)。2枚のCD『Mahoroba』(2011)、『囚われた女』(2015)。大阪芸術大学客員准教授。同志社女子大学、相愛大学非常勤講師。



七里圭

1967年生まれ。代表作は、『眠り姫』(2007-2016)。近年は、映画製作にライブ・パフォーマンスやワーク・イン・プログレスを導入する「音から作る映画」プロジェクト(2014-)、建築家と共作した短編『DUBHOUSE』(2012)が国際的な評価を得る。そもそも商業映画の助監督出身で、『のんきな姉さん』(2004)、『マリッジリング』(2007)などウェルメイドな劇映画も監督。山形国際ドキュメンタリー映画祭2017では審査員も務める。



【チケット】

一般発売 2,500円

当日 3,000円

U25 1,500円

※U25は公演日に25歳以下対象・要証明書

一般発売 12/14(金)

チケットぴあ(Pコード=134-696)

【お問い合わせ】

主催：charmpoint/愛知県芸術劇場

〈charmpoint〉charmpoint7@gmail.com

〈愛知県芸術劇場〉〒461-8525

名古屋市中区東桜1-13-2

TEL 052-971-5609(10:00~18:00)

http://www.aac.pref.aichi.jp

現代・音楽リレーレクチャー

音から作る映画『サロメの娘/アークスモニウム』について

2019/2/3(日) アートスペースA (愛知芸術文化センター12階)

※入場無料(定員100人)

第1部では、七里圭が監督した愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品の上映と、ライブ上映などの音楽家とのコラボレーション活動について担当学芸員とトーク。第2部では、アークスモニウムについて第一人者である榎垣智也による解説と、七里がアークスモニウムを用いた映画の上映を企画した経緯や「音から作る映画」の活動について紹介する。



『ホットtentトエブロン-スケッチ』

(70分/愛知芸術文化センターオリジナル映像作品)

出演：岡久根裕子 たてつべい 井川一郎 大川高広

監督：七里圭 脚本：新藤木成 音楽：佐藤秀俊 人形：清水真理

隠れた場所に醜いアザを持つ少女(岡久根裕子)は、ある日、ネズミ色のフードで覆った笛吹き男を見かける。笛の音色に引き寄せられるように、彼女は森の中の一軒家に迷い込む。そこには、自分と同じアザを持つ人形がいた…。

第19回ヨーロッパメディアアート・フェスティバル 招待作品

第21回イメージフォーラム・フェスティバル 招待作品

【第1部】13:30~15:30

映画『ホットtentトエブロン-スケッチ』

上映+トーク

トークゲスト：七里圭(映画監督)、

越後谷卓司(愛知県美術館主任学芸員)

【第2部】17:00~19:00

アークスモニウムと『サロメの娘』について

講師：七里圭(映画監督)、

榎垣智也(作曲家、大阪芸術大学客員准教授)

『あなたはわたしじゃない』映画上映

2019/3/16(土)~22(金) 名古屋シネマテーク



『あなたはわたしじゃない』

(2018年/83分) 出演：青柳いづみ 長宗我部陽子 黒田育世 安藤朋子 川口雄夫 船屋法水

あの晩、私は森の中で置き去りにされた。獣のマスクをしたあの人は、私のお母さん、だったのだからか？どことも知れぬ白い部屋で、若い女がぶつぶつ続ける。記憶とも空想ともつかぬ独白に、呼び出されるように現れる、囚われの人々。生き急ぐ男に素知らぬ振りして、女たちは踊りを止めない。母から娘へ継がれるカルマを断ち、アイデンティティのくびきから解放放たれるために。

名古屋シネマテーク

地下鉄寺町・UFJ銀行西180m TEL 052-733-9959

一週間

限定上映